

中間検査チェックシート C4表(鉄筋コンクリート造・鉄骨鉄筋コンクリート造)

※工事監理者は、太枠内のみ記入すること

検査項目	照 合 内 容		工事監理者	検 査 記 録		
				A:目視検査 B:実測検査 C:監理者報告	結果	修正
1 全体形状 および 部材の配置	ア	建築物の平面形状		A : B : C	適・否	
	イ	柱、梁等の配置		A : B : C	適・否	
	ウ	耐力壁の配置		A : B : C	適・否	
	エ	床版の配置		A : B : C	適・否	
2 使用材料	ア	コンクリートおよび鋼材の種類		A : B : C	適・否	
	イ	鉄筋の種類		A : B : C	適・否	
3 柱	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	主筋の径、本数、配置		A : B : C	適・否	
	ウ	継手位置、定着長さ、フック		A : B : C	適・否	
	エ	帯筋の径、配置等		A : B : C	適・否	
	オ	かぶり厚		A : B : C	適・否	
4 梁 (大梁・小梁)	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	主筋の径、本数、配置、中吊り筋(2段筋)の位置		A : B : C	適・否	
	ウ	継手位置、定着長さ、フック		A : B : C	適・否	
	エ	あばら筋および幅止め筋の径、配置等		A : B : C	適・否	
	オ	貫通孔の補強筋		A : B : C	適・否	
	カ	かぶり厚		A : B : C	適・否	
5 壁 (耐力壁)	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	主筋の径、配置等		A : B : C	適・否	
	ウ	継手位置、定着長さ、フック		A : B : C	適・否	
	エ	開口部の補強筋および幅止め筋の径、配置等		A : B : C	適・否	
	オ	かぶり厚		A : B : C	適・否	
6 床・階段	ア	部材の形状・寸法		A : B : C	適・否	
	イ	主筋および配筋の径、配置		A : B : C	適・否	
	ウ	継手位置、定着長さ、フック		A : B : C	適・否	
	エ	開口部の補強筋		A : B : C	適・否	
	オ	かぶり厚		A : B : C	適・否	
7 圧接継手	ア	継手の位置		A : B : C	適・否	
	イ	圧接部の外観、ふくらみ		A : B : C	適・否	
8 型 枠	ア	各部分の寸法		A : B : C	適・否	
	イ	せき板、支保工等の設置状況		A : B : C	適・否	
	ウ	型枠内の清掃、異物の除去		A : B : C	適・否	
9 その他	ア	差し筋の設置状況		A : B : C	適・否	
	イ			A : B : C	適・否	

※ 工事監理者は、工事監理者欄に検査結果の適否を記入し、中間検査申請書と同時に提出すること。
 なお、否となった事項については、それに対する措置等を下記に記入すること。

工事監理者への 指摘事項等	中間検査	合格・不合格・合格保留	後続工程	可・不可	工事監理者名(検査立会者)